

教材事例書式

教材教具名「うしろにいるのだあれ？」	教科（国語）	情報提供者（ 小学部1年生 ）
--------------------	--------	-----------------

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい ・紙芝居を見聞きし、話の中のせりふの一部をまねて、その場面になったときに言うことができる。
- 2 発達段階など 話し言葉を獲得する時期
- 3 使い方
 - ・紙芝居でお話を見聞きする。
 - ・繰り返している言葉「うしろにいるのはだあれ？」の後に絵の一部を見たり、鳴き声を聞いたりすることで次にいる動物を期待してみる。
 - ・動物の名前を言うことができる。
 - ・登場する動物の帽子を見せると、自分で動物の帽子を選び、順番を意識して並ぶことができる。
 - ・順番を意識させるために、電車ごっこをする。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

繰り返しの言葉や動物の名前をその場面になると、言うことができるようになった子どもがいたが、興味を持ちにくい子どももいた。始まりや終わりが分かり難い話だったので、もっと始めや終わりを意識させるようにすればよかった。動物の帽子を選んで被り、「まえ」「うしろ」「だあれ」の言葉を使う機会として作ったが、意識して使用することは難しかった。複雑な活動になってしまったので、整理して単純なものにするとよかった。